

根本みはる市議の 一般質問①

9月
議会



豊田市地震被害予測結果報告書に
基づく被害想定

災害から命を守る ための対策を

上郷・高岡地区の被害想定 建物全壊が市内の70%

3日、日本共産党の根本みはる市議は9月市議会
の一般質問に立ちました。その一部を紹介します。

自然災害による被害を減らし、命を守る対策が急
がれます。地震については、政府の地震調査委員会
が、これまで70%程度としてきた南海トラフ地震
が発生する確率を最大で80%に引き上げました。

「豊田市地震被害予測結果報告書」による震度想
定で理論上最大想定モデルでは、上郷・高岡地区を
中心に「震度6強」の想定となっており、南西部の
上郷地区の低地において、液状化の危険度が高いこ
とが予測されています。

液状化ハザードマップ危険区域の 畷部小学校の避難所見直しを

上郷地区の畷部小学校は地
震・液状化ハザードマップの危
険区域にある避難所です。地震
の場合、危険区域であるとして
いる場所の畷部小学校を避難
所としては使用できません。畷
部小学校が使用できないと別
の避難所である上郷中学校に

避難することになります。そ
こまで歩いて避難するのは
困難です。根本市議は、避難
所の見直しをおこない、別の
安全な場所に避難所を設置す
るよう求めました。安全に
避難するために、今後の早期
の対策が必要です。

土砂災害防止施設 未整備は902ヶ所

土砂災害危険箇所数は、県内で
1万7783カ所、市内はその約
3割を占める5297カ所あり、
施設整備対象箇所数は1120カ
所で、そのうち平成30年度末時
点の対策の実施状況は、砂防事業
109カ所、急傾斜地崩壊対策事
業109カ所、合わせて218カ
所の整備が完了、整備率は19.
5%であることが、根本市議への
答弁で分かりました。

避難所に高齢者のためのベッド、 体育館のエアコン設置を

「避難所運営ガイドライン」には、毛布、間仕
切りの確保と併せて、段ボールベッドなどの設置
が検討事項とされています。特に、体力のない高
齢の方・障がいの方など、要配慮者にエコノミー
クラス症候群の予防として、ベッドの設置を求め
ました。答弁では、避難生活が長期化する場合に
は、段ボールベッドの調達を想定しているとのこ
とです。

根本市議は、避難所となる学校の体育館へのエ
アコン設置を求めましたが、小中学校の体育館に
設置されている冷風扇等を活用することとし
た。過去の災害の教訓から、神戸市では、中学校
体育館へのエアコン設置を段階的に進めることを
決めています。対策を検討すべきです。

平成30年度末の未整備箇所
は902カ所も残っており、「整備
完了までに長期間かかるため、避
難所や、こども園、高齢者施設な
どの要配慮者利用施設、人家戸数
の多い所から優先的に整備する、
と愛知県に確認している」状況で
す。

根本市議は、平成28年度末の
未整備箇所は904カ所であり、
この2年間で整備が終わったのが
2カ所のみであることから、あと
何年かけるつもりなのか、県に対
して整備を早めるよう再度、求め
ることを強く要望しました。また、
「住宅の耐震補強・耐震シェルタ
ー整備工事の補助」についても、
拡大を提起しました。

豊田市の国保運営協議会レポート 国保制度の改善を求める会

8月8日（木）午後2時から豊田市役所（左写真）の会議室で、今年度1回目の国民健康保険（以下は国保と省略）運営協議会が開かれました。国保運営協議会は、豊田市の国民健康保険制度の運営に関して、市長から意見を求められて答申する諮問機関です。詳細は、豊田市のホームページ「市政情報」審議会→豊田市国保運営協議会」で閲覧できます。

初めに市長から、来年度の国民健康保険税率についての諮問がありました。

その後、市の担当者から資



料に基づいて説明がありました。大筋で次のような内容でした。

政府の決定で、昨年度から国保制度が大きく変わったこと。今までは、市町村が独自に国保財政を運営してきたが、愛知県が県全体の国保財政を管理し、各市町村に県への「納付金」を割り当てる仕組みに変わったこと。県が機械的に計算すると、大幅に値上がりする市町村も出ることで、「激変緩和措置」を講じて、数年かけて少しずつ上げていくこと。さらに政府は、一般会計から国保会計への繰り入れを無くしていくことを求めていること。

こうした中で、国保課としては、市民への負担をできるだけ少なくしたいと努力している、との報告でした。

報告の後、協議会の委員から次のような発言がありました。

「国保税が高い、とよく聞く。所得税や市県民税だと、所得から医療費などが引かれるのに、国保には無いので高

くなってしまう。」「年金生活者には、国保税は所得税や住民税と比べても何倍も高い。国保税が高すぎる、下げしてほしい、との声がある。」「今回の制度改正は国の方針であり、不足する財源は国が責任をもって補助するのが当然だ。」など。

今回は発言が相次ぎ、終了予定の4時を過ぎてしまいました。

次回は、11月28日に開かれる予定です。この協議会は、事前に申し込みれば誰でも傍聴ができます。今回の傍聴者は3人でした。

（豊田市国保制度の改善を求める会 事務局長・関口哲男）

国保改善運動交流集会のご案内

9月7日（土）

13:30～16:30

名古屋港湾会館にて

（住所は名古屋市港区港町1-11）

- ・ 基調報告「国保をめぐる動き、県内市町村保険料状況など」 日下紀生さん
- ・ 報告「全国情勢や愛知県の運営方針」 西村秀一さん（愛知県国保運営協議会委員）
- ・ 「各地の取り組み」 など

主催：愛知県社会保障推進協議会

問い合わせ電話 052-889-6921

豊田市議会9月定例会 今後の日程

9月10日	(火)	午前10時から	予算決算委員会 (質疑)
11日	(水)	午前10時から	産業建設委員会・分科会
12日	(木)	午前10時から	環境福祉委員会・分科会
13日	(金)	午前10時から	教育社会委員会・分科会
17日	(火)	午前10時から	地域生活委員会・分科会
18日	(水)	午前10時から	企画総務委員会・分科会
20日	(金)	午前10時から	予算決算委員会 (採決)
24日	(火)	午前10時から	本会議 (討論、採決、閉会)

党市委員会が年間方針を 討論、新体制を選任

日本共産党豊田市委員会は8月31日に支部代表者会議を開きました。

市内在住の、もとむら伸子衆院議員から連帯あいさつを受け、その後は党活動の年間総括案や今後の年間方針案について討論。統一地方選や参院選の振り返りとともに、今後の市長選・衆院選について意見が出されました。

党豊田市委員会の新しい委員を決める信任投票も行われ、新しく党市委員長に根本みはる市議員が選ばれました。

消費税10%増税ストップ署名

日時：9月7日（土）

午後1時30分～2時30分

場所：豊田市駅ペDESTリアンデッキ上
豊田市駅方面

主催：消費税の増税に反対する豊田連絡会